

第6章

水資源に関する理解の促進

1 水資源に関する理解の促進 ～「水の日」及び「水の週間」～

政府は、水の貴重さや水資源開発の重要性に対する国民の関心を高め、理解を深めるために、毎年8月1日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として定め（昭和52年（1977年）5月31日閣議了解）、水に関する各種の活動を国、地方公共団体及び関係諸団体の緊密な協力のもとに実施している。

平成24年（2012年）の「水の日」及び「水の週間」は第36回目を迎えた。東日本大震災以降、普段口にしたり生活に利用したりする水が暮らしの中に欠かすことのできない資源であるということが、これまで以上に強く認識されるようになってきている。そこで、あらためて私たちが受けている水の恵みを守り続けるために、一人一人何ができるのか考えてもらう機会とすることを目的として、「水の恵みを未来に～健全な水循環の再生を目指して～」をテーマとして、以下の活動が実施された（参考6-1-1）。

（1）水の週間中央行事

東京都千代田区の科学技術館及び江東区の東京都虹の下水道館において、「水の恵みを未来に～健全な水循環の再生を目指して～」をテーマとしたシンポジウム及び水の展示会を開催した。

（2）第34回「全日本中学生水の作文コンクール」

「水について考える」をテーマに、中学生による作文コンクールを実施し、優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与した。

（3）平成24年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に、特に顕著な功績のあった個人及び団体に対して、国土交通大臣賞を授与した。

（4）第27回「水とのふれあいフォトコンテスト」

「水辺の憩い、水のある風景」、「暮らしの中で毎日使う水」、「作物や草木を育て、エネルギーを生む水」などをテーマにフォトコンテストを実施し、優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与した。

（5）水の週間記念第32回隅田川レガッタ

一般・中学生等によるエイト、ナックルフォアを実施した。

（6）水の週間一斉打ち水大作戦

雨水や下水再生水など水道水以外の水を有効利用し、その効果を実感してもらう試みとして、全国各地で一斉に打ち水をする、水の週間一斉打ち水大作戦を実施した（参考6-1-2）。

(7) その他

全国各地で、水に関する展示会、講演会、シンポジウム、水資源開発施設見学会、水源地域と水消費地域の人々の連帯意識醸成のための上下流交流会などが開催された（参考6-1-3）。